様式2

公共事業環境配慮書

建設部　道路建設課

事業名称	
事業名	道路改築事業
整理番号	25-6
事業の種類	道路（国道、県道、農道、林道）の新設・改築　及び街路の整備
市町村名	下伊那郡　阿智村
箇所名	鞍掛峠
事業年度	平成23年度～平成30年度

事業概要	
目　　的	道路拡幅により当該区間の車両の安全かつ円滑な通行を確保するとともに地域間の連携・交流の強化を図る。
計画概要（延長・幅員・面積・工種など）	道路築造工　L=340m　W=5.5(7.0)m
関連する事業計画	特になし
その他特記事項	特になし

関係法令等の規制		
自然環境保全地域等の指定状況	大規模開発調整地域	
土地利用規制の状況	なし	
その他	なし	

社会的要素	留意すべき地域の概況
交通の現況	当該路線は第1次緊急輸送路である（国）153号と第2次緊急輸送路である（国）151号とを結ぶ。 交通量は537台/日である
土地利用の現況	山地・丘陵である 檜の植林地がある
生活関連施設の現況	周辺に住居が集合している 周辺に工場がある
その他	特になし

自然的環境要素	環境配慮の方針	
大気環境	留意すべき地域の概況	生活関連施設がある
	【大気汚染の防止】	
	・土砂表層の散水や道路の散水、車両や機械の清掃等を行い粉じんの飛散を防止する。	
	・排出ガス対策型の車両や機械を採用する。	
	・資材等の運搬ルートは、居住系地域内の走行は出来るだけ避ける。	
	・交通流の円滑化により大気汚染、騒音、振動の発生を防止する。	
	【騒音、振動の防止】	
	・夜間・早朝の資材運搬及び機械の稼働を出来るだけ避ける。	
	・著しい騒音、振動を発生する工法を避ける。	
	・低騒音・低振動型の建設機械を採用する。	
	【悪臭の防止】	
	・想定される影響なし	
水環境	留意すべき地域の概況	閉鎖性の高い水域その他の水が滞留しやすい地域である 希少植物が生息する湿地がある
	【水質汚濁の防止】	
	・作業場所へはオイルマットを常備し、万が一重機等油漏れ事故の際には、直ちに対応する。	
	・チェーンソーを使用する際は生分解性チェーンオイルを使用する。	
	【水循環の保全】	
	・地下水調査の結果をもとに、現在の湿地帯に影響を与えない構造・工法とする。	
	・地下水観測を実施し水環境の保全につとめる。	
地形・地質	留意すべき地域の概況	丘陵である（一級河川　湯川の河岸段丘）標高約590m 湿地である 既存道路部は昭和40年前後の盛土築造であり、基盤はシルト質である
	【環境の保全上重要な地形・地質の改変の回避】	
	・専門家、地域住民参加の勉強会での意見を取り入れ、湿地に影響を与えない構造・工法とする。	
	【改変面積の最小化】	
	・大規模な盛土、切土は行わない。	
	・工事施工ヤードに既存の平坦地を利用する等、土地の改変が最小となるように努める。	

野生動植物	留意すべき地域の概況	自然性が高い植生の地域である ハナノキ等多種多様な希少植物（県ﾚｯﾄﾞﾃﾞｰﾀﾘｽﾄ）の生息・育成地周辺で ギフチョウ（天然記念物）等の希少チョウ類の生息・育成地周辺である
	【自然環境の保全上重要な地域の改変の回避】	
	・自然性の高い地域や希少な動植物の生息・生育地等、自然環境の保全上重要な地域の改変を出来るだけ避ける。	
	【野生動植物の生息・生育空間の保全】	
	・専門家、地域住民参加の勉強会での意見を取り入れ、生育空間の保全に努める。	
	・アダプトシステム等地域住民の協力による生育空間の保全を検討する。	
	・専門家の意見をもとに稀少チョウ類の生息調査をし、生息を確認する。	
	【動物の繁殖期における影響の低減】	
	・想定される影響はない。	
	【地域独自の生物多様性の保全】	
	・大規模な盛土、切土は行わない。	
	【動植物への負担の少ない形状・素材の使用】	
	・自然石、自然素材又は多自然型製品等動植物への負荷の少ない素材を使用する。	
景観	留意すべき地域の概況	多種多様な植物で構成される森林景観を形成している
	【すぐれた景観の保全】	
	・主要な景観資源の改変を出来るだけ避け、現在の林相を可能な限り維持する。	
	・工事施工中は、現場の整理整頓・美化に努め、仮施設や資材置き場は目立ちにくい配置にする。	
	【良好な景観の育成】	
	・周辺地域の環境との調和に配慮した施設の配置・規模・形態・意匠・色彩・素材等を検討する。	
	・樹木の伐採は出来る限り避ける。	
自然とのふれあい	留意すべき地域の概況	多種多様な希少植物がある（現状はふれあいの場はない）
	【自然とのふれあいの場への立地の回避】	
	・想定される影響はない。	
	【自然とのふれあい空間の創出】	
	・地域住民が自然とふれあえる場の創出を検討する。	
文化財等	留意すべき地域の概況	特になし
	【文化財等への配慮】	
	・想定される影響はない。	
廃棄物・ 建設残土	【建設廃棄物や建設残土の発生抑制】	
	・建設副産物の発生を抑制する施設配置、線形、工法、資材などの採用に努める。	
	・建設廃棄物や建設残土の適正処理を行う。	
	【建設廃棄物や建設残土のリサイクル】	
	・現場発生材の原位置リサイクル等、建設廃棄物や建設残土のリサイクルを推進する。	
	【資源の有効利用】	
	・再生As合材、再生骨材、木材チップ、建設汚泥改良土等再生資材の利用に努める。	
	・自然石、県産木材等環境に負荷の少ない資材の使用に努める。	
省資源・ 省エネルギー・ 温室効果ガス	【環境への負荷の少ない機械の利用等】	
	・低燃費型建設機械や省エネ機構搭載型建設機械を積極的に使用する。	
	・アイドリングストップ、エンジン回転数の抑制等機械の省エネ運転に努める。	
	・点検整備を行い適正な燃費消費率を維持する。	
	【エネルギーの有効利用】	
	・想定される影響はない。	
日照阻害・ 電波障害・ 光害	【日照阻害への配慮】	
	・想定される影響はない	
	【電波障害への配慮】	
	・想定される影響はない	
	【光害への配慮】	
	・想定される影響はない	

No.	項目	環境部長の意見内容	事業部局の見解
1	水環境	地下水、地表水の水脈分断による影響が生じないように、湿地環境の保全を図ってください。	湿地への影響を把握するための地質調査及び水文調査を実施しました。 この結果を踏まえ、湿地への影響のない工法を計画し、工事の際には地下水の監視等を行い湿地環境の保全に努めます。
2	野生動植物 （動物）	阿智村村内では、ギフチョウ等無脊椎動物であるチョウ類の希少種が確認されており、詳しい生息地については、阿智村教育委員会及び地域の専門家に事前に確認する等、同種の生息に影響が生じないよう十分な配慮をしてください。	ギフチョウ等チョウ類の希少種について、地域の専門家の意見を聴きました。その結果、ギフチョウは生息していないことが確認されましたが、その他のチョウ類について今後生息調査を実施し地域の専門家意見を確認し生息に影響が生じないように配慮します。
3	野生動植物 （植物）	計画地周辺では、カザグルマ、ヘビノボラズ、ハナノキ、リョウノウアザミ、ササユリ、ダイセンミツバツツジなど、湿地等に生育する希少種が確認されており、周辺の改変等により影響が出る可能性があるため、事前に地域の専門家の意見を確認する等、生育環境の保全に十分な配慮をしてください。	湿地への影響に関する地質調査及び稀少種に関する植生調査（春、夏、秋）を実施しました。 この結果をもとに、専門家及び地域住民、行政機関で構成する勉強会を開催し情報の共有と意見交換を実施しました。 公共事業環境配慮書は勉強会での意見を反映させたものとし、生育環境の保全に配慮します。
4	景観	周辺の景観と調和のとれた道路景観の育成に配慮してください。	大規模な盛土、掘削は行いません。 また、現在のハナノキや周辺林野と調和した道路景観を可能な限り残す計画とし景観に配慮します。
5	廃棄物・建設残土等	「環境配慮の方針」に「建設廃棄物や建設残土のリサイクル」及び「資源の有効活用」を追加してください。	「建設廃棄物や建設残土のリサイクル」及び「資源の有効活用」を追加しました。